

大腸がん・大腸がん検診について

大腸がんってどんな病気？

日本では罹患する人が増加しており、がんによる死亡原因の上位に位置しています。特に日本人では、S状結腸と直腸にできやすいと言われていいます。

大腸がんの発生は、**生活習慣と関わりがある**とされており、特に喫煙・飲酒・肥満・高身長により発生するリスクが高まります。

検診で早期に発見して治療することにより、大腸がんで亡くなることを防ぐことができます。検診は**自覚症状***がないうちに受けることが大切です。



※血便、腹痛、便の性状や回数に変化があった等の症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

大腸がん検診について

松伏町では、国が「**死亡率を減少させることが科学的に証明された**」有効な検診としている**便潜血検査**を、国が推奨する方法で実施しています。

40歳になったら年に1度、継続して受診し、「要精密検査」という結果を受け取った場合には必ず精密検査*を受けるようにしてください。

●便潜血検査

便に混じった血液を検出する検査です（目に見えないわずかな出血でも検知することが可能です）。ご家庭で2日分の便を採便する検査です。**痔疾患等の下血中や生理中の採便は避けてください。**



※精密検査について

大腸がんであっても、毎回便潜血検査が陽性になるわけではないため、もう一度便潜血検査をすることは意味がありません。**全大腸内視鏡検査や大腸内視鏡検査と注腸X線検査の併用検査**を受けましょう。

「大腸がん」「がん検診」などの情報についてもっと詳しく知りたい方へ

国立がん研究センターの『がん情報サービス』では、わかりやすく確かな情報をお届けしています。

がん情報サービス



ganjoho.jp

